

---

# 伊勢崎佐波地区 景気動向調査


No.58 2017.7~9月期

---

## Contents

- 概況 ..... 緩やかに続いた業況改善も足踏み  
来期は全業種で改善を予想
- 特別調査 ..... 「中小企業経営と地域との関わりについて」

 伊勢崎商工会議所

 アイオーしんきん

## 調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

## 今回の調査について

調査時期

2017年9月

調査内容

- ① 今期の状況：前年の同時期（2016年7月～9月）と比較した今期（2017年7月～9月）の状況及び前期（2017年4月～6月）と比較した今期の状況。
- ② 来期の見通し：前年の同時期（2016年10月～12月）と比較した来期（2017年10月～12月）の見通し。

調査方法

伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査

調査対象企業数

伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社

回答企業数

372社

回答企業業種別内訳

下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	111	117	94.9%
卸売業	26	29	89.7%
小売業	92	93	98.9%
建設業	60	61	98.4%
サービス業	83	86	96.5%
合計	372	386	96.4%

## 調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index-D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

## 1. 業況

























### 緩やかに続いた業況改善も足踏み、来期は全業種で改善を予想

今期（2017.7～9）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I.は、 $\Delta 9.4$  と前期（2017.4～6： $\Delta 9.2$ ）との比較で 0.2 ポイント悪化し、2016.7～9 期以降続いていた緩やかな改善傾向も、今期は足踏みの様相となりました。業種別の判断 D.I.では、卸売業、小売業、サービス業で改善した一方、製造業で 1.6 ポイント悪化したほか建設業で 11.9 から $\Delta 5.0$  へとマイナス判断に転じたことから、全業種では僅かながらも悪化するという結果となりました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実査した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全国調査の業況判断 D.I. $\Delta 16.9$  を 7.5 ポイント上回っています。業種別でも当地域の業況判断 D.I.は、全業種で全国調査の業況判断 D.I.を上回る結果となっています。

来期（2017.10～12）の業況判断 D.I.の見通しは、 $\Delta 2.7$  と依然としてマイナスの判断が続くものの、今期（2017.7～9： $\Delta 9.4$ ）との比較で 6.7 ポイント改善するとしています。業種別では卸売業で $\Delta 7.7$  から 7.7、建設業で $\Delta 5.0$  から 11.7 へとプラスの判断に転じると予想しているほか、その他の全ての業種でも改善を見込んでいます。

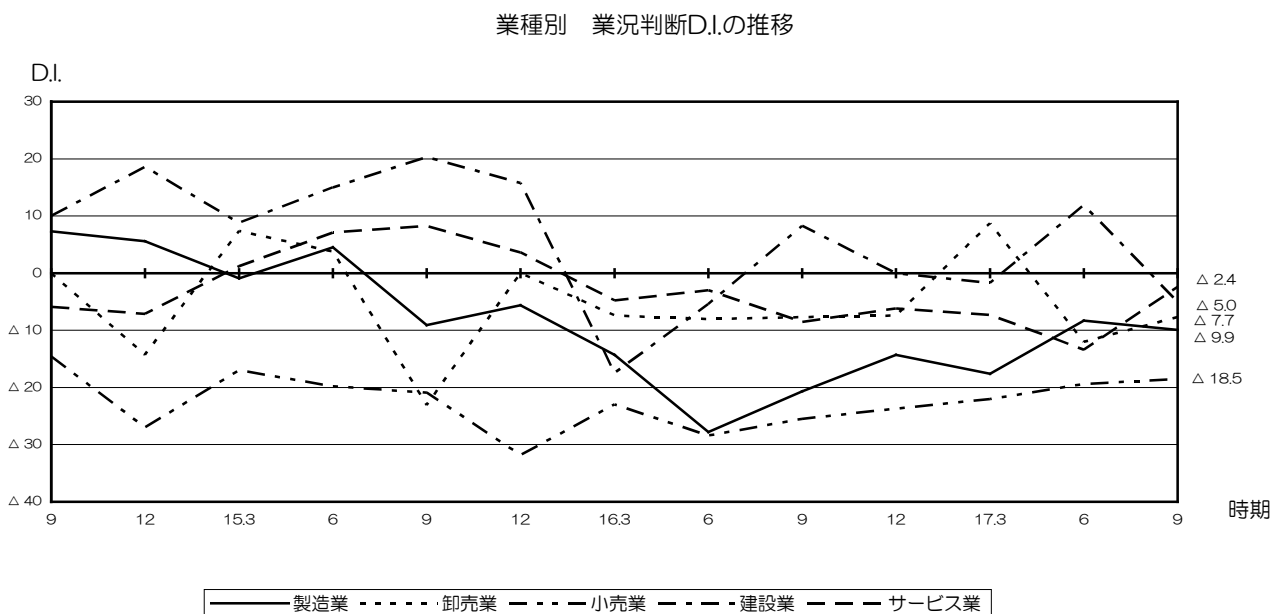
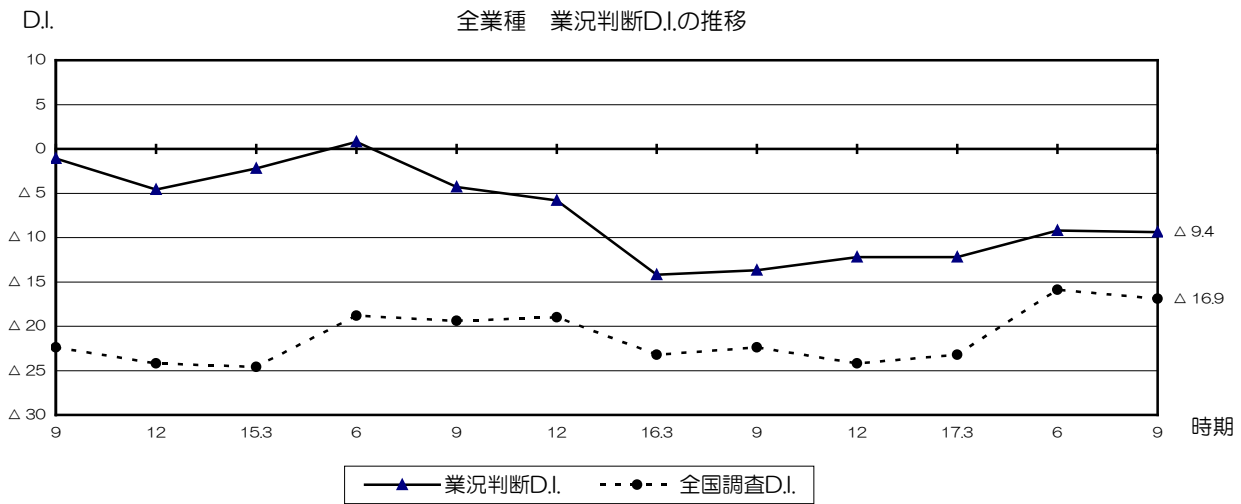
業 種 別 天 気 図

	前 期 2017.4～6月	今 期 2017.7～9月	全 国 調 査 2017.7～9月	来 期 見 通 し 2017.10～12月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



## 2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2017.4~6	今 期 2017.7~9	来 期 見 通 し 2017.10~12	全 国 調 査 2017.7~9
全 業 種	△9.2	△9.4	△2.7	△16.9
製 造 業	△8.3	△9.9	△3.6	△12.1
卸 売 業	△12.0	△7.7	7.7	△15.9
小 売 業	△19.4	△18.5	△15.2	△30.3
建 設 業	11.9	△5.0	11.7	△8.2
サ ー ビ ス 業	△13.4	△2.4	△1.2	△13.7

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。)

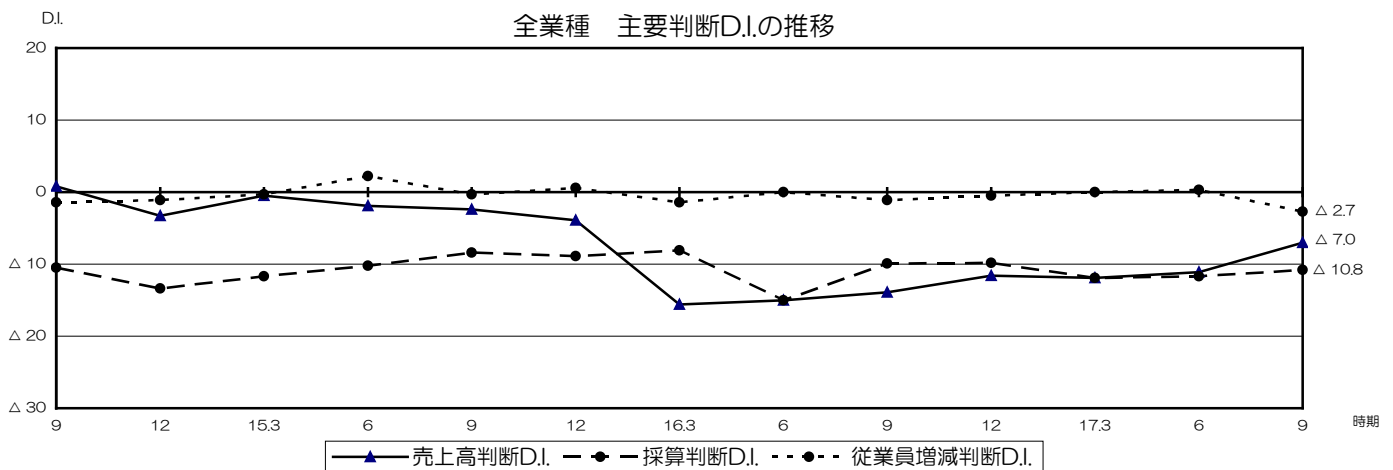
### 3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期(2017.7~9)の売上高判断D.I.は $\Delta 7.0$ と、前期(2017.4~6:  $\Delta 11.1$ )との比較で4.1ポイント改善しています。また、採算判断D.I.では0.9ポイント改善しましたが、従業員増減判断D.I.では3.0ポイント悪化しマイナスの判断に転じました。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 11.1$	$\Delta 7.0$	$\Delta 2.4$
採 算	$\Delta 11.7$	$\Delta 10.8$	$\Delta 7.8$
従業員増減	0.3	$\Delta 2.7$	3.3

来期(2017.10~12)の売上高判断D.I.は $\Delta 2.4$ と、今期(2017.7~9:  $\Delta 7.0$ )との比較で4.6ポイント改善すると見通しているほか、採算判断D.I.で3.0ポイント改善、従業員増減判断D.I.では6.0ポイント改善しプラス判断に転じるとしています。



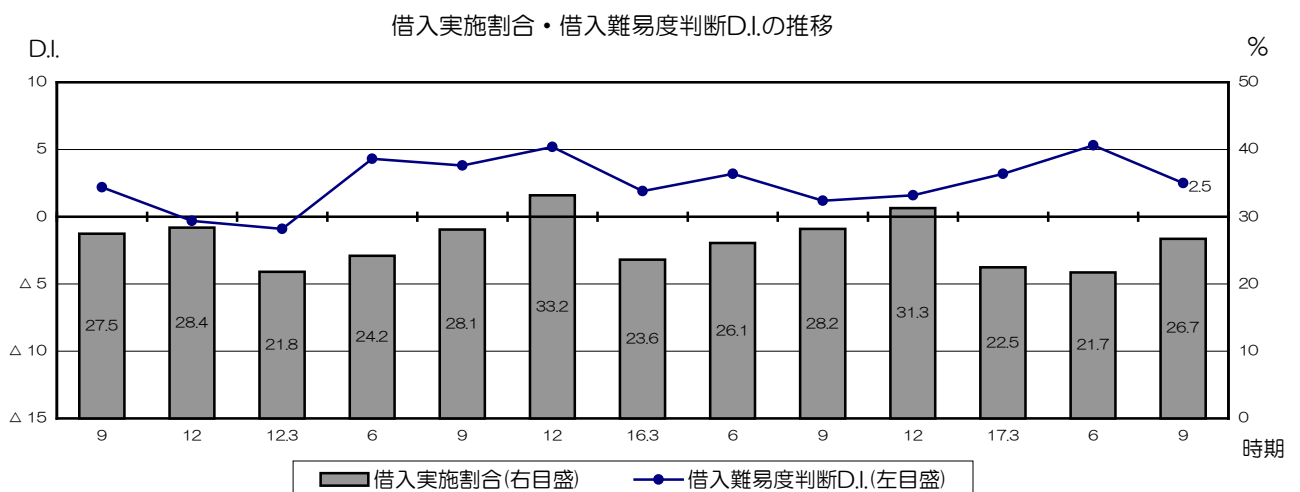
### 4. 借入金の状況

今期(2017.7~9)借入を実施した企業の割合は26.7%と、前期(2017.4~6: 21.7%)との比較で5.0ポイント増加しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	21.7%	26.7%	24.5%
借入難易度判断D.I.	5.3	2.5	

来期(2017.10~12)借入を予定する企業の割合は24.5%と、今期(2017.7~9: 26.7%)との比較で2.2ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.7~9)2.5と、前期(2017.4~6: 5.3)との比較で2.8ポイント悪化しています。



## 1. 業況

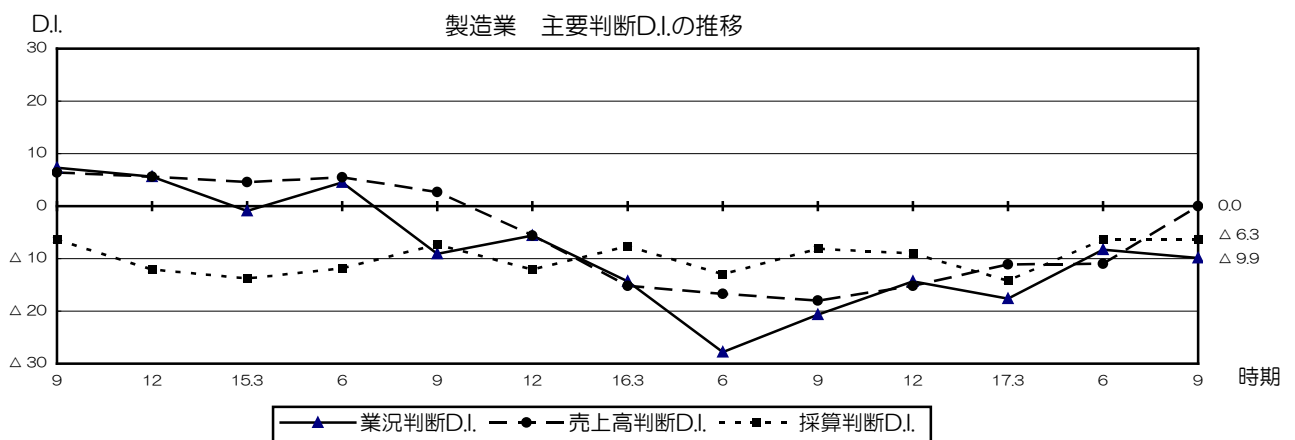
今期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 9.9$  と、前期 (2017.4~6 :  $\Delta 8.3$ ) との比較で 1.6 ポイント悪化しているほか、資金繰り、原材料在庫、従業員増減の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 12.1$  を 2.2 ポイント上回っているほか、資金繰り、原材料仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 3.6$  と、今期 (2017.7~9) との比較で 6.3 ポイントの改善を予想しているほか、売上高、原材料仕入単価以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 8.3$	$\Delta 9.9$	$\Delta 3.6$	$\Delta 12.1$
売上(加工)高	$\Delta 11.0$	0.0	$\Delta 1.8$	$\Delta 10.0$
資金繰り	$\Delta 5.5$	$\Delta 9.9$	$\Delta 5.4$	$\Delta 9.7$
採 算	$\Delta 6.4$	$\Delta 6.3$	$\Delta 2.7$	$\Delta 14.8$
原材料仕入単価	18.3	20.0	19.1	32.4
原材料在庫	0.9	$\Delta 3.6$	$\Delta 1.8$	$\Delta 5.1$
従業員増減	7.4	$\Delta 0.9$	4.5	$\Delta 1.6$
設備操業率	$\Delta 6.4$	$\Delta 0.9$	2.7	$\Delta 5.5$



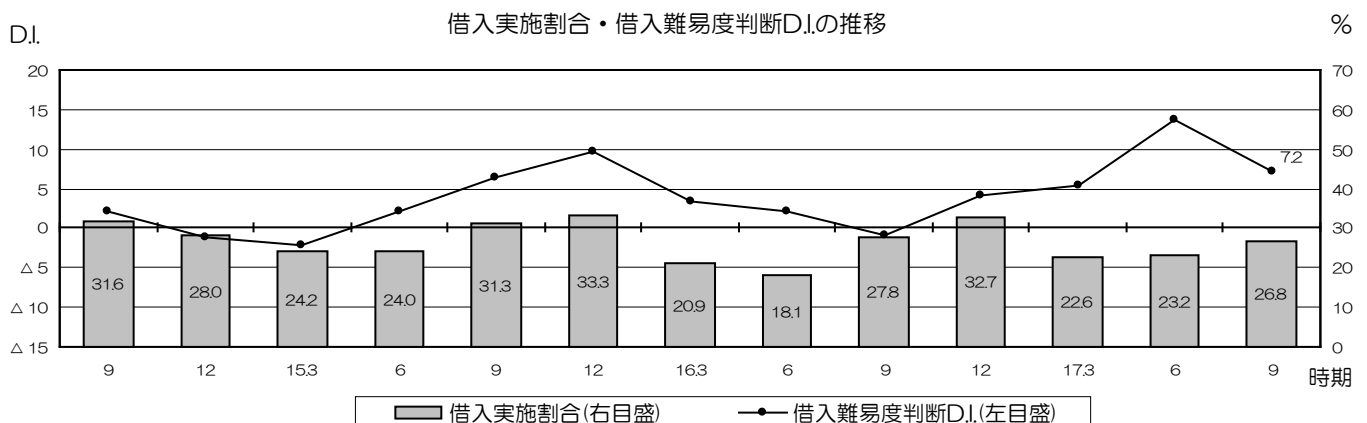
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.7~9) 借入を実施した企業の割合は 26.8%と、前期 (2017.4~6 : 23.2%) との比較で 3.6 ポイント増加しました。

来期 (2017.10~12) 借入を予定する企業の割合は 27.8%と、今期 (2017.7~9 : 26.8%) と比較して 1.0 ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.7~9) 7.2 と、前期 (2017.4~6 : 13.7) との比較では 6.5 ポイント悪化しています。

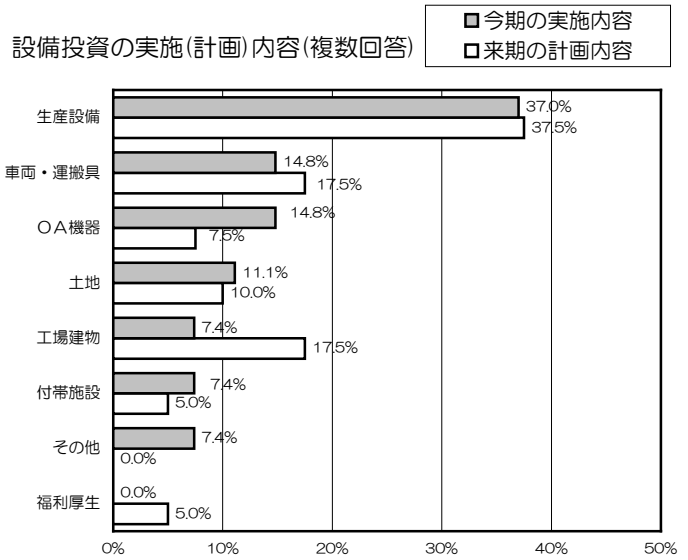
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	23.2%	26.8%	27.8%
借入難易度判断 D.I.	13.7	7.2	



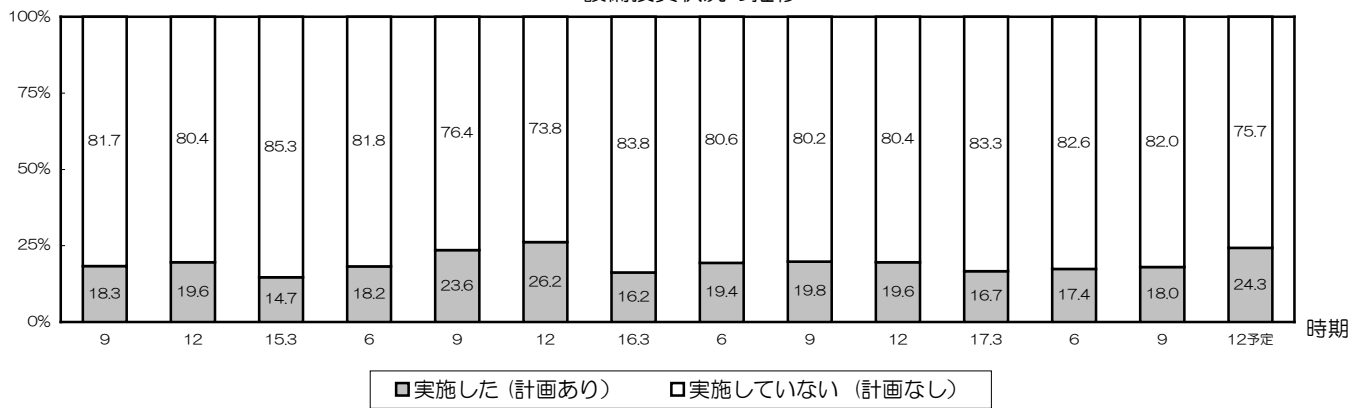
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.7～9）設備投資を実施した企業の割合は18.0%と、前期（2017.4～6:17.4%）との比較で0.6ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が37.0%、車両・運搬具、OA機器が各々14.8%、土地が11.1%、工場建物、付帯施設、その他が各々7.4%でした。

来期（2017.10～12）設備投資を計画する企業の割合は24.3%と、今期（2017.7～9）と比較して6.3ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が37.5%、車両・運搬具、工場建物が各々17.5%、土地が10.0%、OA機器が7.5%、付帯施設、福利厚生が各々5.0%となっています。



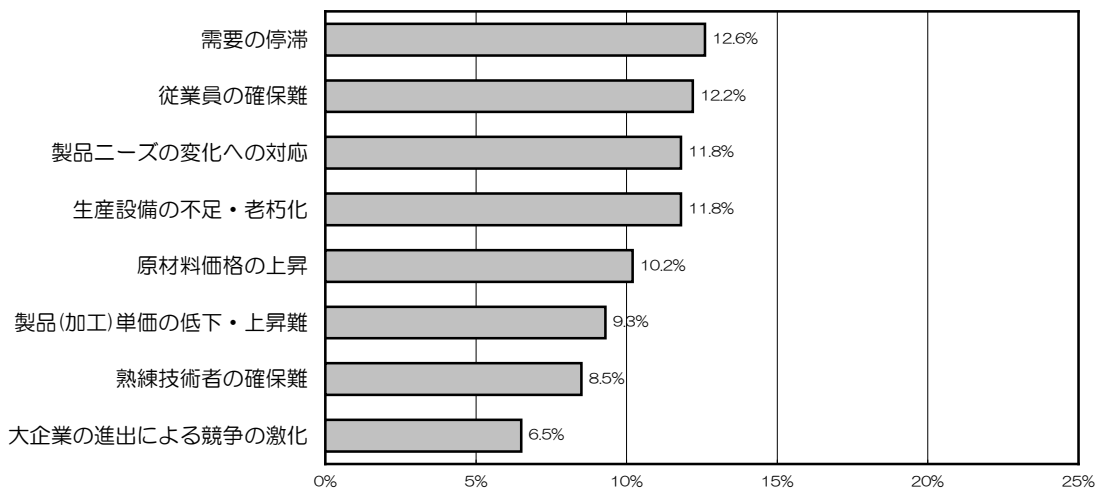
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で12.6%、第2位が「従業員の確保難」で12.2%、第3位が「製品ニーズの変化への対応」、「生産設備の不足・老朽化」で各々11.8%、第4位が「原材料価格の上昇」で10.2%、第5位が「製品(加工)単価の低下・上昇難」で9.3%、第6位が「熟練技術者の確保難」で8.5%、第7位が「大企業の進出による競争の激化」で6.5%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点(複数回答)



# 卸売業

2017.7~9 月期 (回答 26 社・・・回答率 89.7%)

## 1. 業況

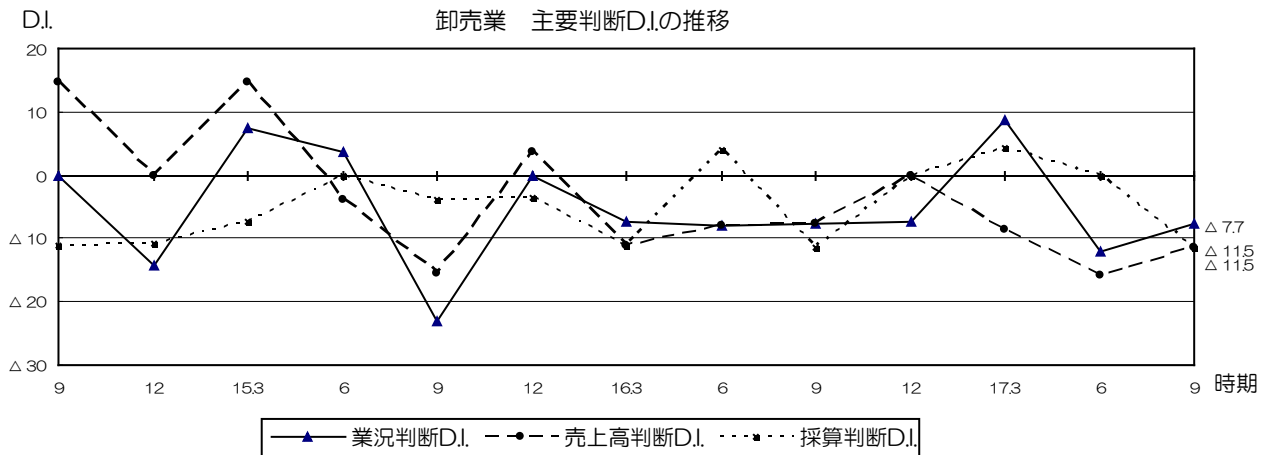
今期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 7.7$  と、前期 (2017.4~6 : 12.0) との比較で 4.3 ポイント改善しているほか、採算、仕入単価、在庫数量以外の項目でも前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 15.9$ を 8.2 ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目でも全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期(2017.10~12)の業況判断 D.I.は 7.7 と、15.4 ポイント改善しプラス判断に転じると予想し、仕入単価、在庫数量、従業員増減以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 12.0$	$\Delta 7.7$	7.7	$\Delta 15.9$
売 上 高	$\Delta 16.0$	$\Delta 11.5$	0.0	$\Delta 18.2$
資 金 繰 り	0.0	3.8	8.0	$\Delta 4.4$
採 算	0.0	$\Delta 11.5$	$\Delta 3.8$	$\Delta 14.3$
売上単価	$\Delta 12.0$	3.8	11.5	2.2
仕入単価	8.0	7.7	0.0	27.7
在庫数量	4.0	$\Delta 11.5$	$\Delta 11.5$	$\Delta 12.4$
従業員増減	0.0	15.4	11.5	$\Delta 0.9$



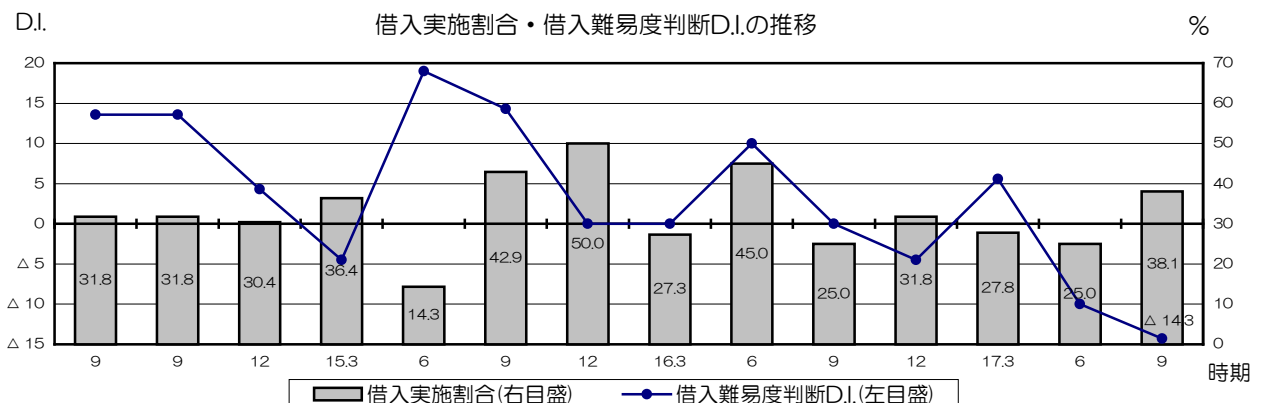
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.7~9) 借入を実施した企業の割合は 38.1%と、前期 (2017.4~6 : 25.0%) と比較して 13.1 ポイント増加しました。

来期 (2017.10~12) 借入を予定する企業の割合は 38.1%と、今期 (2017.7~9) と比較して変化がない見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.7~9)  $\Delta 14.3$  と、前期 (2017.4~6 :  $\Delta 10.0$ ) との比較では 4.3 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	25.0%	38.1%	38.1%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 10.0$	$\Delta 14.3$	

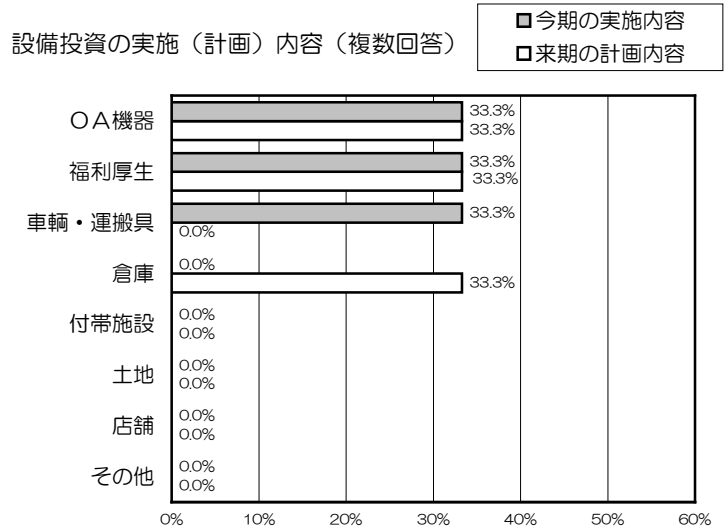




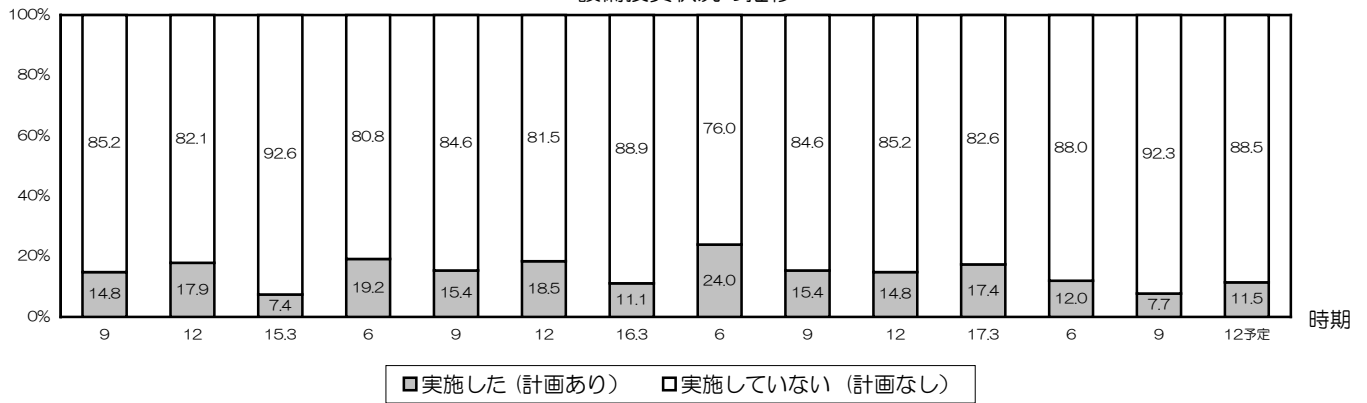
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.7～9）設備投資を実施した企業の割合は7.7%と、前期（2017.4～6：12.0%）との比較で4.3ポイント減少しました。設備投資の内訳は、OA機器、福利厚生、車両・運搬具が各々33.3%でした。

来期（2017.10～12）設備投資を計画する企業の割合は11.5%と、今期（2017.4～6）との比較で3.8ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、OA機器、福利厚生、倉庫が各々33.3%となっています。



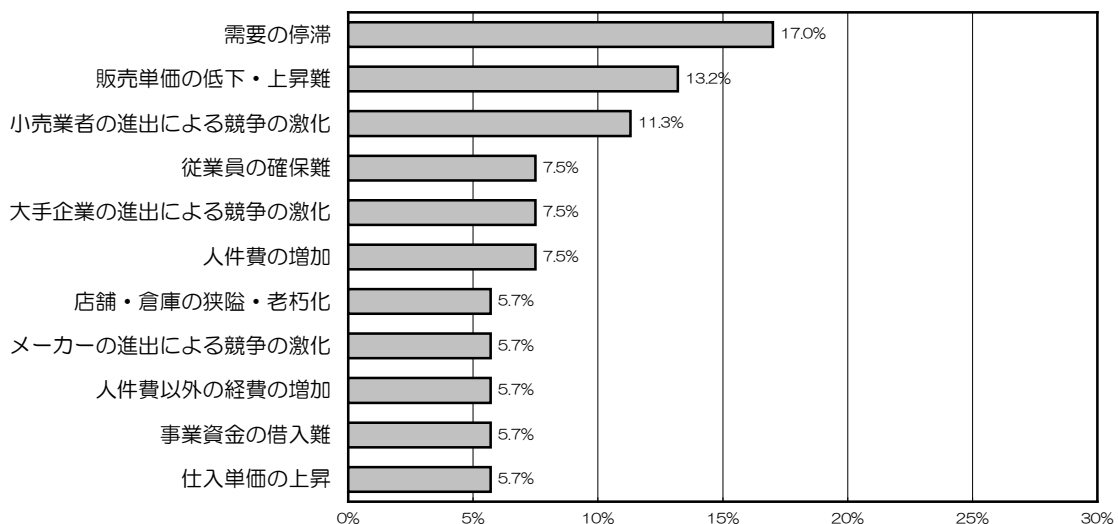
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「需要の停滞」で17.0%、第2位が「販売単価の低下・上昇難」で13.2%、第3位が「小売業者の進出による競争の激化」で11.3%、第4位が「従業員の確保難」、「大手企業の進出による競争の激化」、「人件費の増加」で各々7.5%、第5位が「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、「メーカーの進出による競争の激化」、「人件費以外の経費の増加」、「事業資金の借入難」、「仕入単価の上昇」で各々5.7%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



# 小売業

2017.7~9月期 (回答92社・・・回答率98.9%)

## 1. 業況

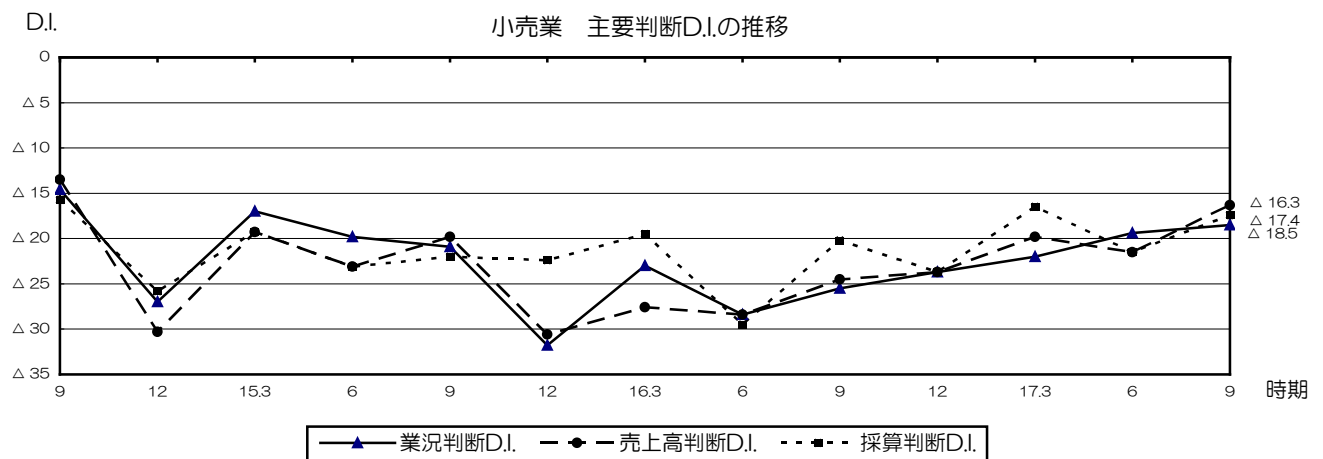
今期(2017.7~9)の業況判断D.I.は△18.5と、前期(2017.4~6:△19.4)との比較で0.9ポイント改善しており、2016.7~9期以降改善が続いているほか、全ての項目で前期を上回る結果となっています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の△30.3を11.8ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2017.10~12)の業況判断D.I.は△15.2と、今期(2017.7~9:△18.5)との比較で3.3ポイントの改善としており、回復傾向が続くと予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	△19.4	△18.5	△15.2	△30.3
売 上 高	△21.5	△16.3	△14.1	△31.8
資 金 繰 り	△14.0	△12.1	△11.0	△19.9
採 算	△21.5	△17.4	△19.6	△29.5
売上単価	△11.8	△9.8	△10.9	△22.3
仕入単価	8.6	14.3	10.0	16.6
在庫数量	△10.8	△8.7	△7.6	△19.8
従業員増減	0.0	1.1	3.3	△4.8



## 2. 借入金の状況

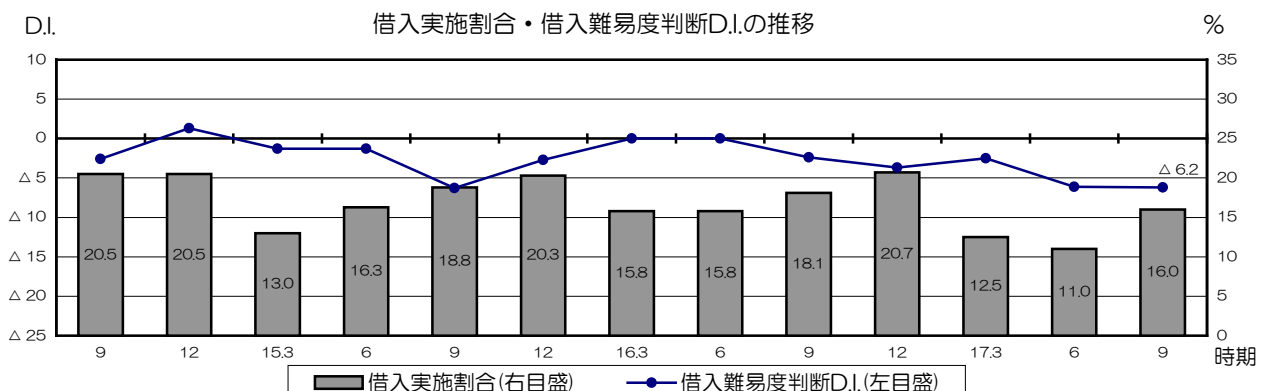
今期(2017.7~9)借入を実施した企業の割合は16.0%と、前期(2017.4~6:11.0%)と比較して5.0ポイント増加しました。

来期(2017.10~12)借入を予定する企業の割合は13.6%と、2.4ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2017.7~9)

△6.2と、前期(2017.4~6:△6.1)との比較で0.1ポイント悪化しています。

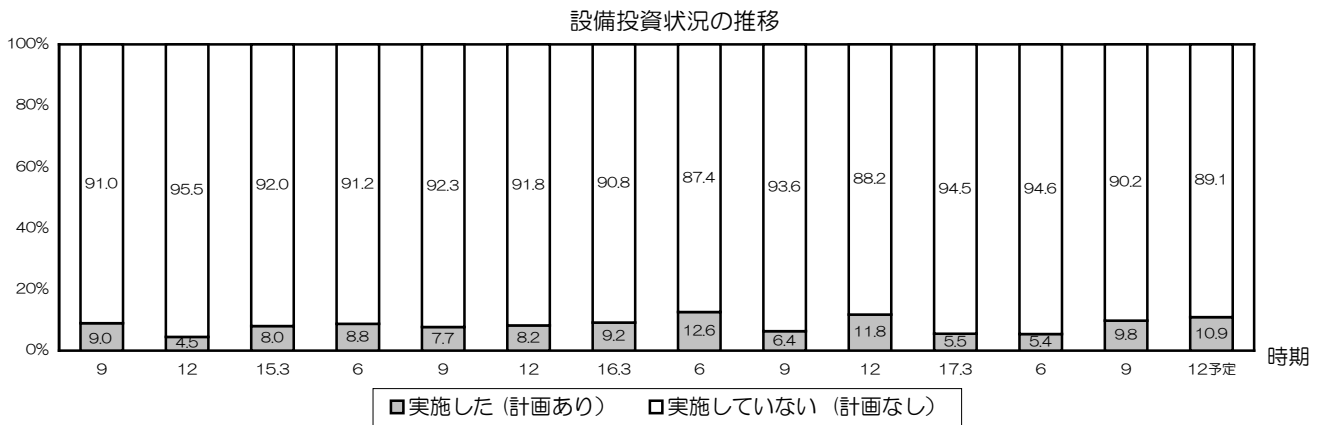
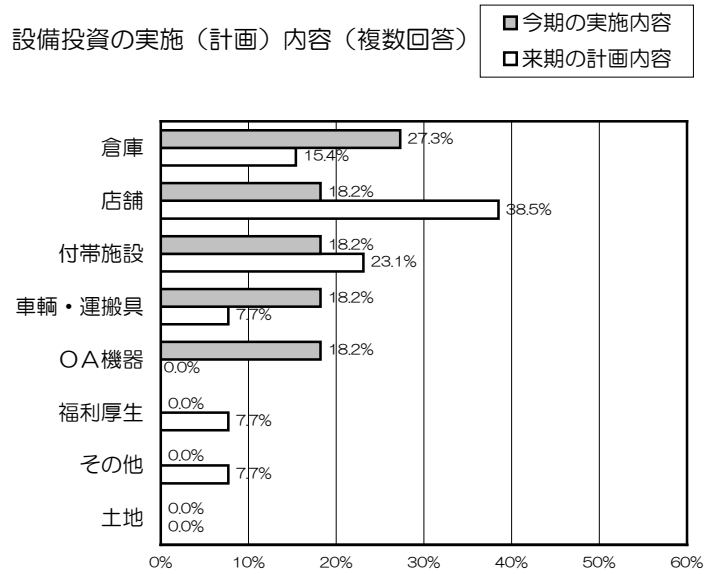
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	11.0%	16.0%	13.6%
借入難易度判断D.I.	△6.1	△6.2	



### 3. 設備投資の状況

今期（2017.7～9）設備投資を実施した企業の割合は9.8%と、前期（2017.4～6：5.4%）との比較で4.4ポイント増加しました。設備投資の内訳は、倉庫が27.3%、店舗、付帯施設、車両・運搬具、OA機器が各々18.2%でした。

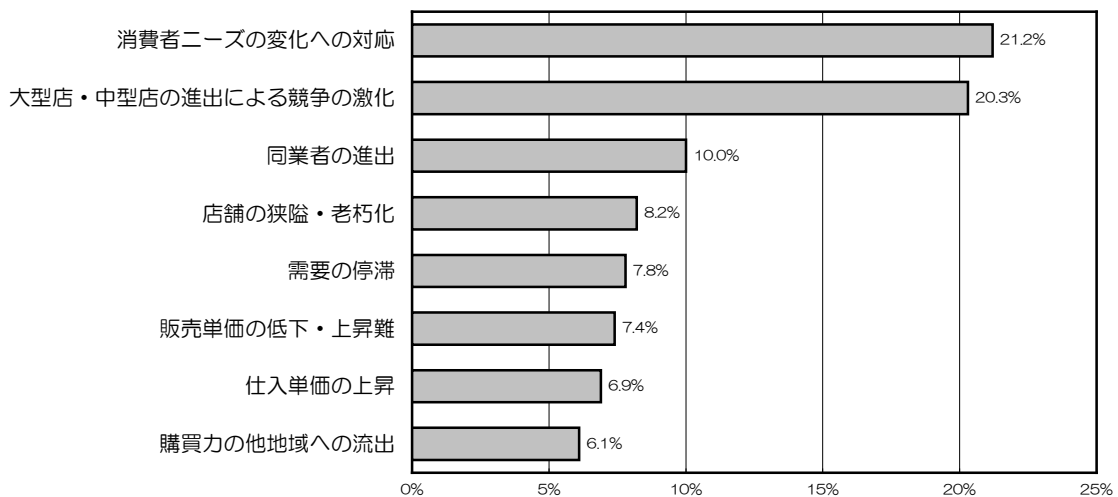
来期（2017.10～12）設備投資を計画する企業の割合は10.9%と、今期（2017.7～9）と比較して1.1ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、店舗が38.5%、付帯施設が23.1%、倉庫が15.4%、車両・運搬具、福利厚生、その他が各々7.7%となっています。



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で21.2%、第2位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で20.3%、第3位が「同業者の進出」で10.0%、第4位が「店舗の狭隘・老朽化」で8.2%、第5位が「需要の停滞」で7.8%、第6位が「販売単価の低下・上昇難」で7.4%、第7位が「仕入単価の上昇」で6.9%、第8位が「購買力の他地域への流出」で6.1%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



## 1. 業況

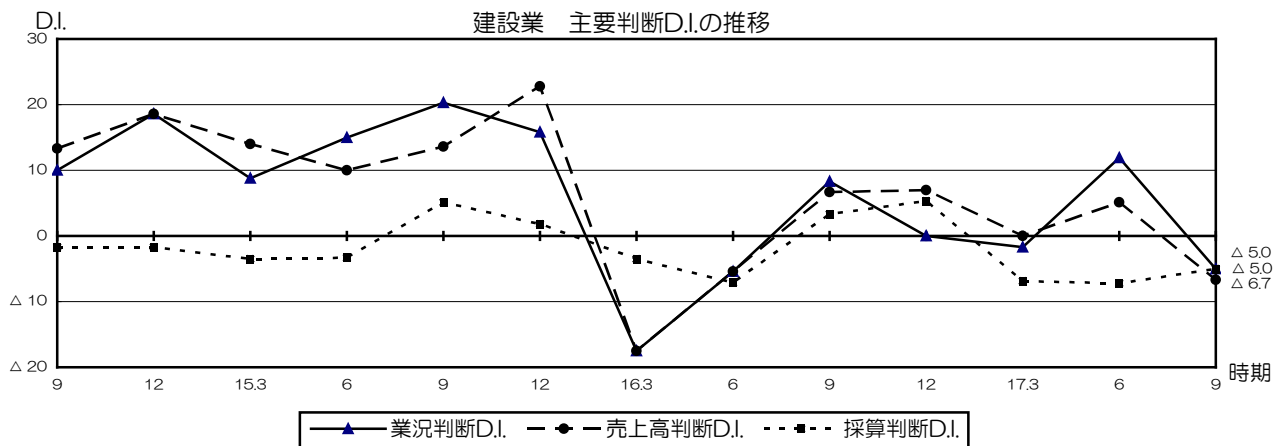
今期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 5.0$  と、前期 (2017.4~6 : 11.9) との比較で 16.9 ポイント悪化しマイナス判断に転じているほか、資金繰り、採算以外の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 8.2$ を 3.2 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は 11.7 と、今期 (2017.7~9) との比較で 16.7 ポイント改善しプラスの判断に戻ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	11.9	$\Delta 5.0$	11.7	$\Delta 8.2$
売 上 高	5.1	$\Delta 6.7$	8.3	$\Delta 9.7$
資 金 繰 り	$\Delta 1.7$	1.7	10.0	$\Delta 5.2$
採 算	$\Delta 6.8$	$\Delta 5.0$	3.3	$\Delta 14.6$
受 注 額	5.1	$\Delta 3.3$	3.3	$\Delta 12.6$
材 料 単 価	20.3	15.0	15.0	27.3
従業員増減	8.5	$\Delta 1.7$	$\Delta 3.3$	$\Delta 3.0$



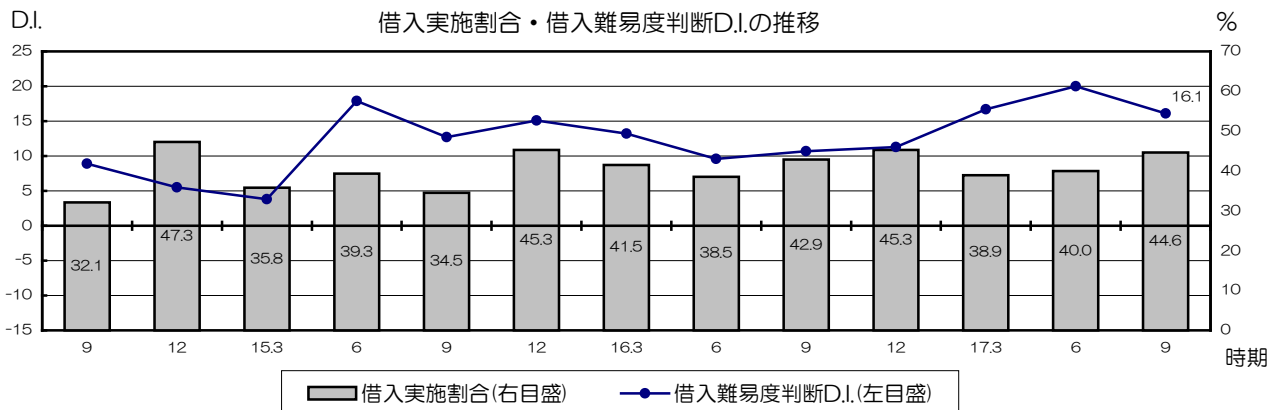
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.7~9) 借入を実施した企業の割合は 44.6%と、前期 (2017.4~6 : 40.0%) と比較して 4.6 ポイント増加しました。

来期 (2017.10~12) 借入を予定する企業の割合は 37.5%と 7.1 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.7~9) 16.1 と、前期 (2017.4~6 : 20.0) との比較では 3.9 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	40.0%	44.6%	37.5%
借入難易度判断 D.I.	20.0	16.1	

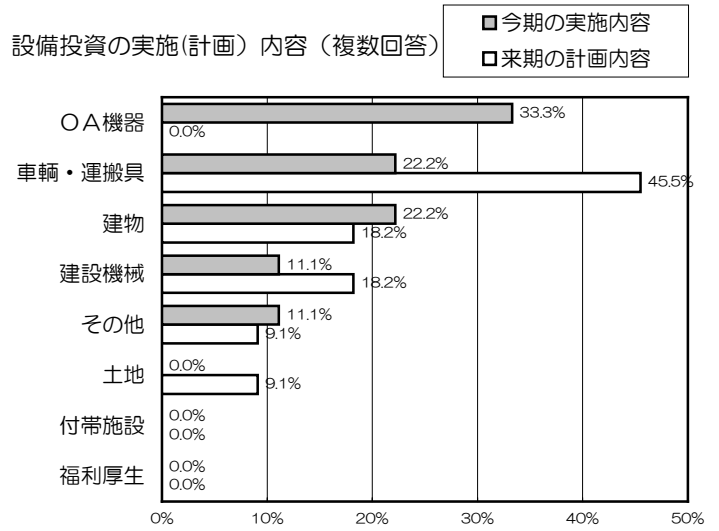


### 3. 設備投資の状況

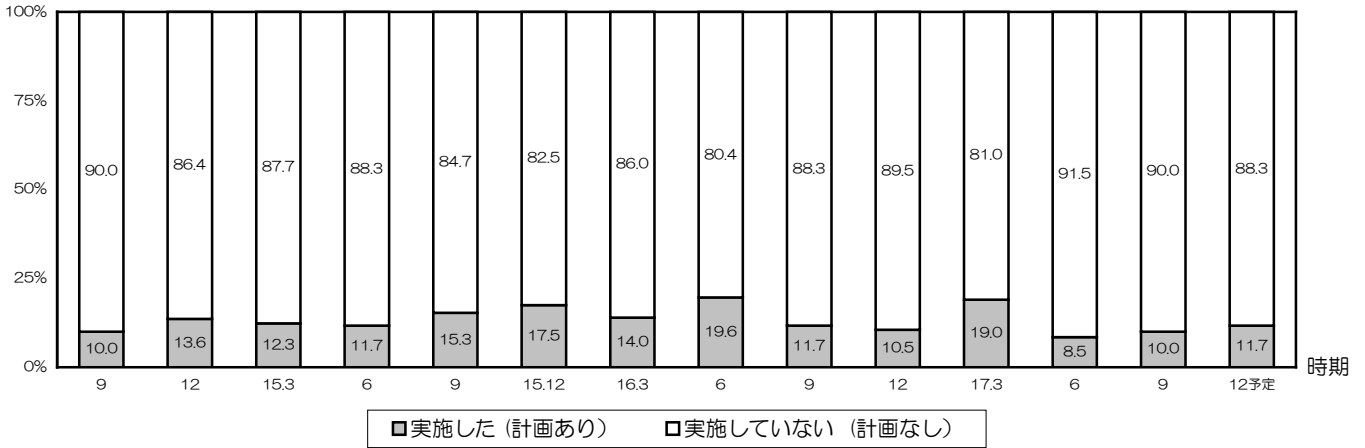
今期（2017.7～9）設備投資を実施した企業の割合は10.0%と、前期（2017.4～6:8.5%）との比較で1.5ポイント増加しました。

設備投資の内訳は、OA機器が33.3%、車輛・運搬具、建物が各々22.2%、建設機械、その他が各々11.1%でした。

来期（2017.10～12）設備投資を計画する企業の割合は11.7%と、今期（2017.7～9）との比較で1.7ポイント増加の見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が45.5%、建物、建設機械が各々18.2%、その他、土地が各々9.1%となっています。



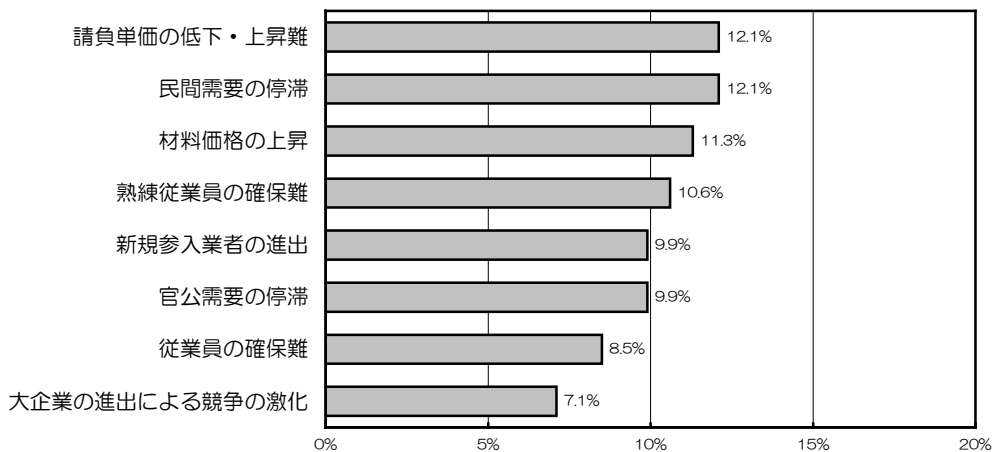
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「請負単価の低下・上昇難」、「民間需要の停滞」で各々12.1%、第2位が「材料価格の上昇」で11.3%、第3位が「熟練従業員の確保難」で10.6%、第4位が「新規参入業者の進出」、「官公需要の停滞」で各々9.9%、第5位が「従業員の確保難」で8.5%、第6位が「大企業の進出による競争の激化」で7.1%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



# サービス業

2017.7~9月期 (回答 83 社・・・回答率 96.5%)

## 1. 業況

(対前年同期比判断D.I.)

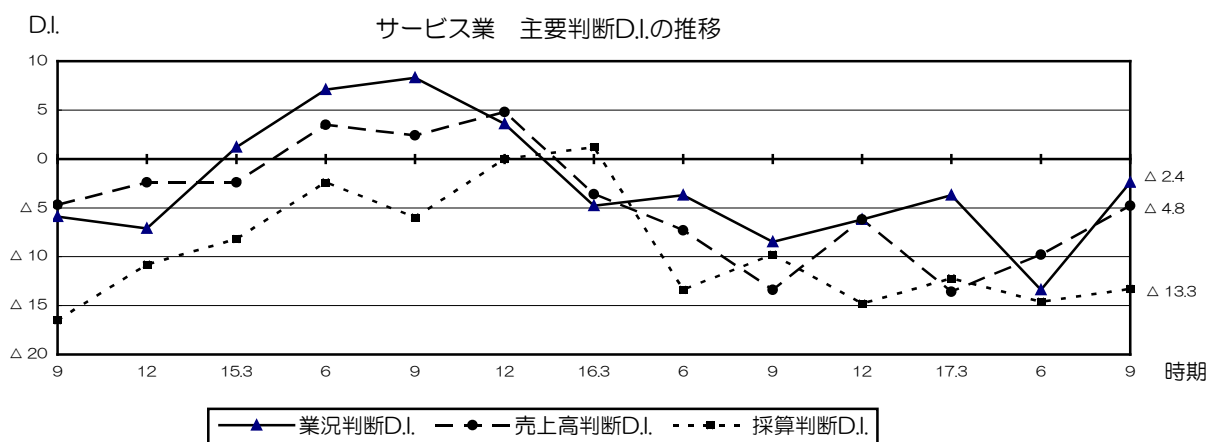
今期 (2017.7~9) の業況判断 D.I.は $\Delta 2.4$  と、前期 (2017.4~6:  $\Delta 13.4$ ) との比較で 11.0 ポイント改善しているほか、従業員増減以外の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 13.7$  を 11.3 ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

来期 (2017.10~12) の業況判断 D.I.は $\Delta 1.2$

と、今期 (2017.7~9) との比較で 1.2 ポイント改善すると予想しているほか、仕入単価以外の項目で改善すると予想しています。

	前 期	今 期	来期見通し	全国調査
業 況	$\Delta 13.4$	$\Delta 2.4$	$\Delta 1.2$	$\Delta 13.7$
売 上 高	$\Delta 9.8$	$\Delta 4.8$	1.2	$\Delta 12.4$
資 金 繰 り	$\Delta 4.9$	$\Delta 1.2$	2.4	$\Delta 10.8$
採 算	$\Delta 14.6$	$\Delta 13.3$	$\Delta 10.8$	$\Delta 17.2$
客 単 価	$\Delta 12.2$	$\Delta 4.8$	0.0	$\Delta 7.5$
仕 入 単 価	14.6	16.9	13.3	27.5
従業員増減	$\Delta 2.4$	$\Delta 4.9$	3.7	$\Delta 5.0$



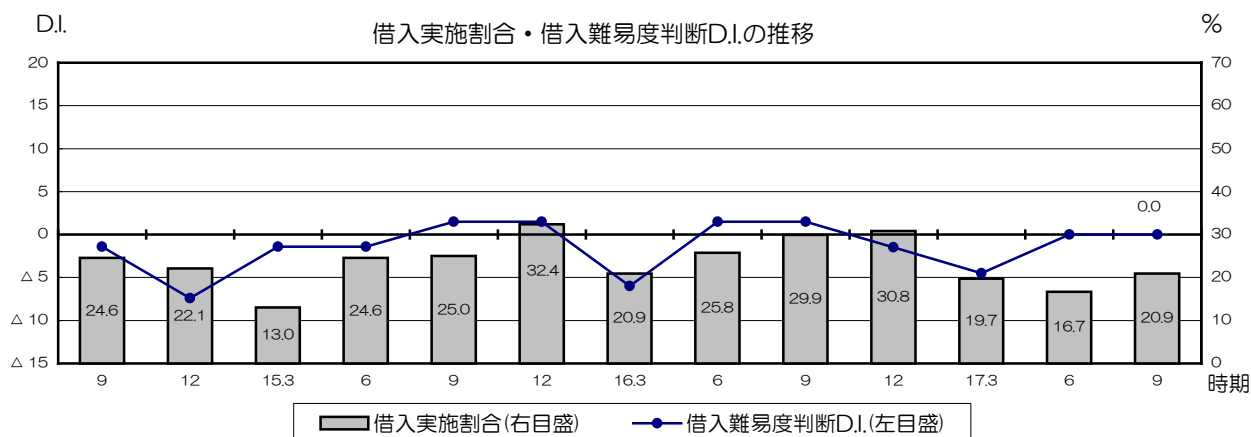
## 2. 借入金の状況

今期 (2017.7~9) 借入を実施した企業の割合は 20.9%と、前期 (2017.4~6) の 16.7% と比較して 4.2 ポイント増加しました。

来期 (2017.10~12) 借入を予定する企業の割合は 17.9%と、今期 (2017.7~9) との比較で 3.0 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2017.7~9) 0.0 と、前期 (2017.4~6: 0.0) との比較では変化がない見込みです。

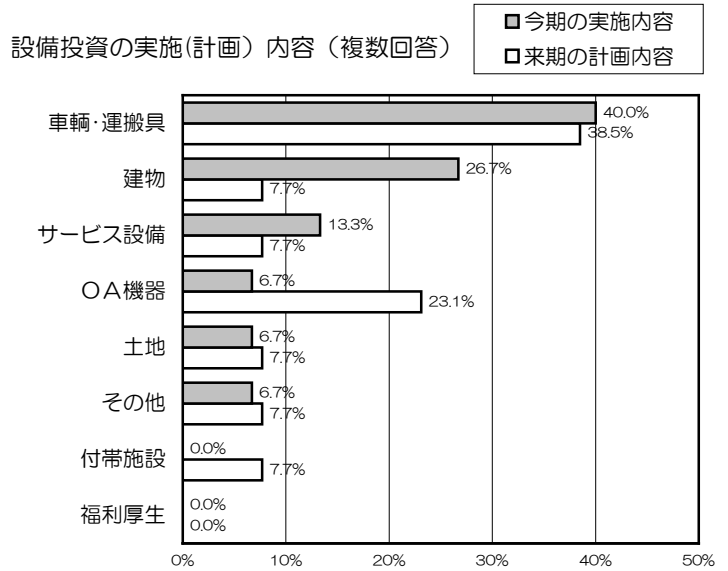
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	16.7%	20.9%	17.9%
借入難易度判断 D.I.	0.0	0.0	



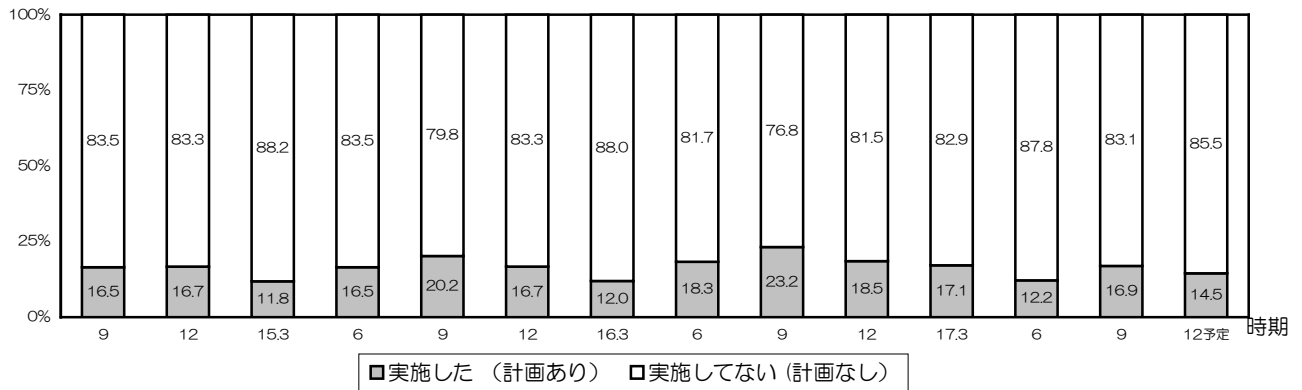
### 3. 設備投資の状況

今期（2017.7～9）設備投資を実施した企業の割合は16.9%と、前期（2017.4～6：12.2%）との比較で4.7ポイント増加しました。設備投資の内訳は、車両・運搬具が40.0%、建物が26.7%、サービス設備が13.3%、OA機器、土地、その他が各々6.7%でした。

来期（2017.10～12）設備投資を計画する企業の割合は14.5%と、今期（2017.7～9）と比較して2.4ポイント減少の見込みです。設備投資の内訳は、車両・運搬具が38.5%、OA機器が23.1%、建物、サービス設備、土地、その他、付帯施設が各々7.7%となっています。



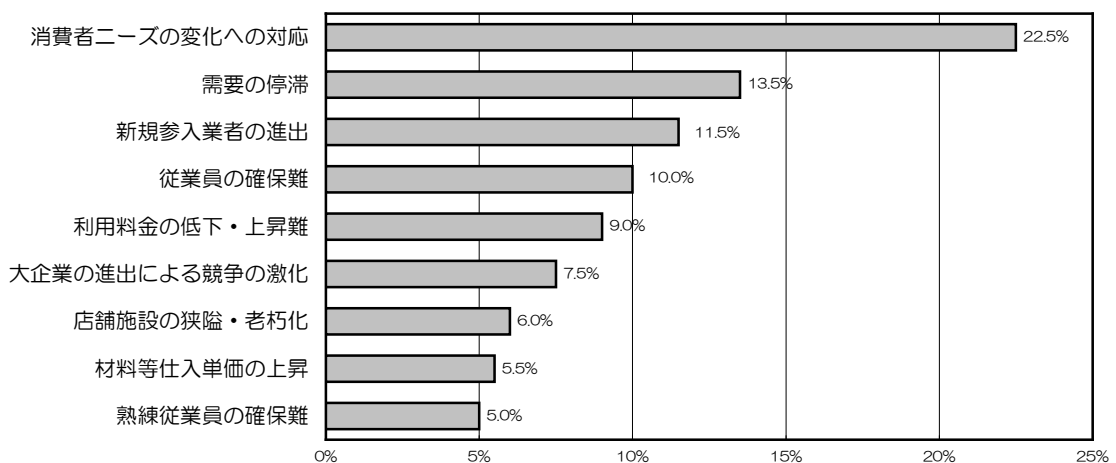
設備投資状況の推移



### 4. 経営上の問題点

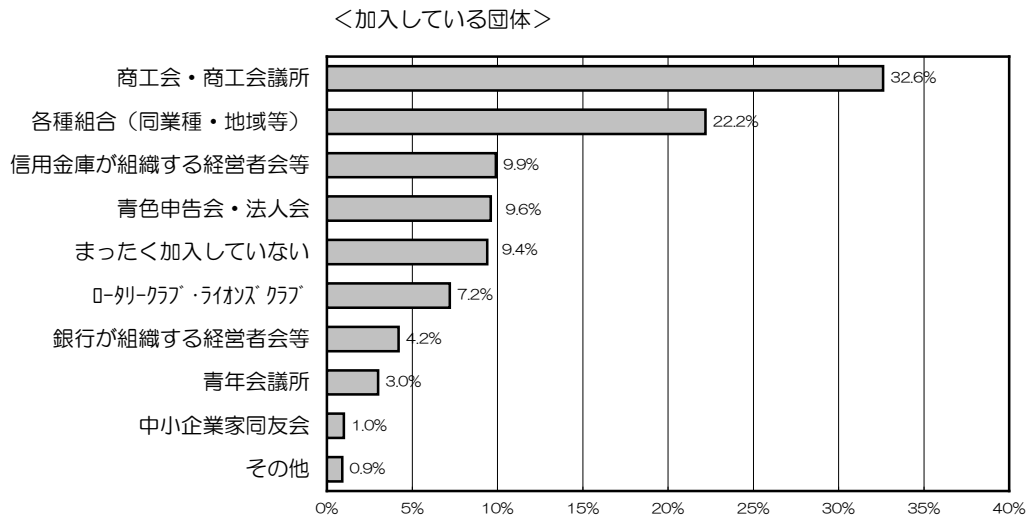
主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で22.5%、第2位が「需要の停滞」で13.5%、第3位が「新規参入業者の進出」で11.5%、第4位が「従業員の確保難」で10.0%、第5位が「利用料金の低下・上昇難」で9.0%、第6位が「大企業の進出による競争の激化」で7.5%、第7位が「店舗施設の狭隘・老朽化」で6.0%、第8位が「材料等仕入単価の上昇」で5.5%、第9位が「熟練従業員の確保難」で5.0%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）

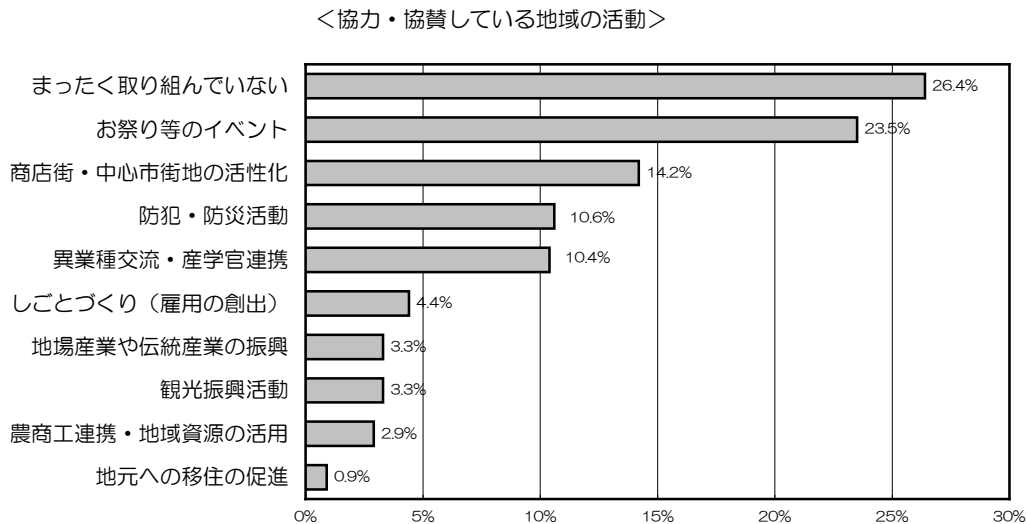


## 「中小企業経営と地域との関わりについて」

問1 貴社では、以下に列挙する団体等に参加していますか。1～10の中から3つ以内でお答えください。なお、4つ以上の団体等に参加している場合は、その中でも経営に役立っていると感じている団体等を3つ以内で選んでお答えください。



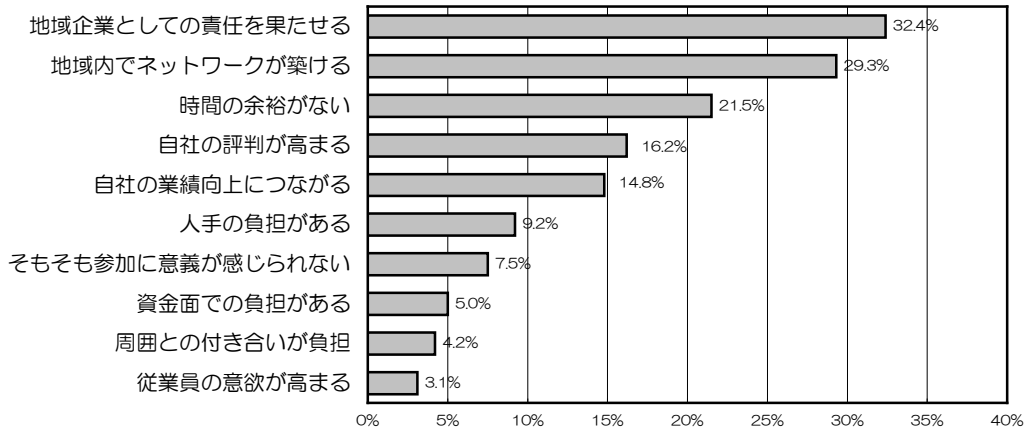
問2 貴社が地域経済との関わりの中かで取り組んでいる、あるいは協力・協賛している地域での活動について、1～10の中から3つ以内でお答えください。





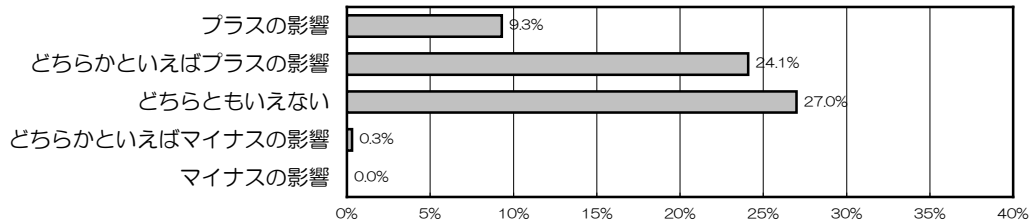
問3 貴社では、問2で挙げたような各種地域活動への参加に対して、どのようなイメージをお持ちですか。1～10の中から3つ以内でお答えください。

＜各種地域活動への参加に対するイメージ＞

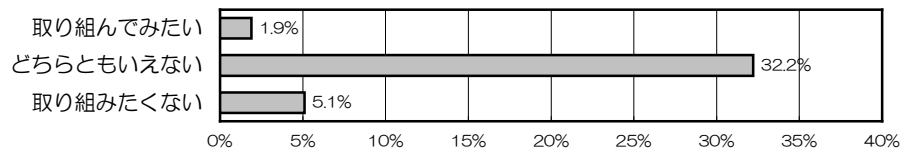


問4 問2で挙げたような各種地域活動について、何らかの活動に取り組んでいる場合は、その活動が自社の経営あるいは事業に及ぼしている影響を1～5の中からお答えください。また、活動に取り組んでいない場合は、今後の活動への取組みの意向を6～8の中からお答えください。

＜各種地域活動についての影響と今後の意向＞取り組んでいる企業

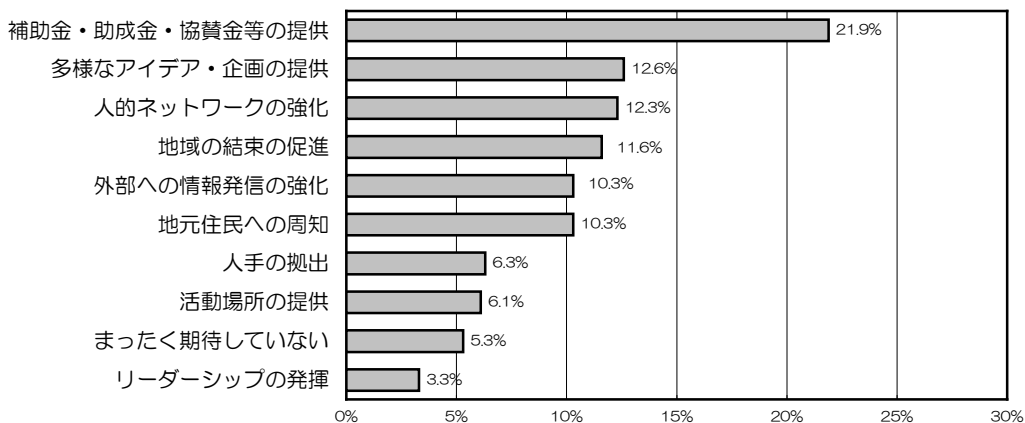


＜各種地域活動についての影響と今後の意向＞取り組んでいない企業



問5 今後、地域での各種活動がさらに活発化していくために、地元自治体や地域金融機関に期待することはありますか。1～10の中から3つ以内でお答えください。

＜地元自治体や地域金融機関に期待すること＞



# 集計結果 (2017.7~9月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	11.6	67.5	21.0	△9.4	9.7	73.7	16.7	△7.0	11.0	75.3	13.7	△2.7
	売上	15.1	62.9	22.0	△7.0	13.2	67.7	19.1	△5.9	12.9	71.8	15.3	△2.4
	資金繰り	6.7	80.9	12.4	△5.7	5.1	84.6	10.2	△5.1	6.8	84.9	8.4	△1.6
	採算	5.6	78.0	16.4	△10.8					5.7	80.9	13.5	△7.8
	従業員増減	8.4	80.4	11.1	△2.7					7.6	88.0	4.3	3.3
	借入難易度					11.8	78.9	9.3	2.5				
製造業	業況	14.4	61.3	24.3	△9.9	11.7	70.3	18.0	△6.3	10.8	74.8	14.4	△3.6
	売上	20.7	58.6	20.7	0.0	18.9	64.0	17.1	1.8	14.4	69.4	16.2	△1.8
	資金繰り	8.1	73.9	18.0	△9.9	4.5	81.1	14.4	△9.9	7.2	80.2	12.6	△5.4
	採算	9.0	75.7	15.3	△6.3					7.3	82.7	10.0	△2.7
	原材料単価	22.7	74.5	2.7	20.0					21.8	75.5	2.7	19.1
	原材料在庫	4.5	87.4	8.1	△3.6					4.5	89.2	6.3	△1.8
	従業員増減	12.0	75.0	13.0	△0.9					10.9	82.7	6.4	4.5
	設備操業率	10.8	77.5	11.7	△0.9					9.9	82.9	7.2	2.7
	借入難易度									16.5	74.2	9.3	7.2
卸売業	業況	11.5	69.2	19.2	△7.7	3.8	80.8	15.4	△11.5	19.2	69.2	11.5	7.7
	売上	11.5	65.4	23.1	△11.5	7.7	76.9	15.4	△7.7	15.4	69.2	15.4	0.0
	資金繰り	7.7	88.5	3.8	3.8	7.7	88.5	3.8	3.8	12.0	84.0	4.0	8.0
	採算	3.8	80.8	15.4	△11.5					7.7	80.8	11.5	△3.8
	売上単価	7.7	88.5	3.8	3.8					11.5	88.5	0.0	11.5
	仕入単価	11.5	84.6	3.8	7.7					3.8	92.3	3.8	0.0
	在庫数量	7.7	73.1	19.2	△11.5					3.8	80.8	15.4	△11.5
	従業員増減	15.4	84.6	0.0	15.4					11.5	88.5	0.0	11.5
	借入難易度									0.0	85.7	14.3	△14.3
	小売業	業況	6.5	68.5	25.0	△18.5	4.3	72.8	22.8	△18.5	3.3	78.3	18.5
売上		10.9	62.0	27.2	△16.3	7.6	63.0	29.3	△21.7	6.5	72.8	20.7	△14.1
資金繰り		3.3	81.3	15.4	△12.1	1.1	85.7	13.2	△12.1	2.2	84.6	13.2	△11.0
採算		2.2	78.3	19.6	△17.4					1.1	78.3	20.7	△19.6
売上単価		7.6	75.0	17.4	△9.8					3.3	82.6	14.1	△10.9
仕入単価		18.7	76.9	4.4	14.3					15.6	78.9	5.6	10.0
在庫数量		5.4	80.4	14.1	△8.7					6.5	79.3	14.1	△7.6
従業員増減		4.4	92.2	3.3	1.1					5.6	92.2	2.2	3.3
借入難易度										7.4	79.0	13.6	△6.2
建設業	業況	11.7	71.7	16.7	△5.0	13.3	76.7	10.0	3.3	18.3	75.0	6.7	11.7
	売上	15.0	63.3	21.7	△6.7	15.0	71.7	13.3	1.7	18.3	71.7	10.0	8.3
	資金繰り	8.3	85.0	6.7	1.7	10.0	83.3	6.7	3.3	10.0	90.0	0.0	10.0
	採算	5.0	85.0	10.0	△5.0					10.0	83.3	6.7	3.3
	受注額	10.0	76.7	13.3	△3.3					13.3	76.7	10.0	3.3
	材料単価	15.0	85.0	0.0	15.0					16.7	81.7	1.7	15.0
	従業員増減	5.0	88.3	6.7	△1.7					5.0	86.7	8.3	△3.3
	借入難易度					17.9	80.4	1.8	16.1				
サービス業	業況	13.3	71.1	15.7	△2.4	12.0	74.7	13.3	△1.2	12.0	74.7	13.3	△1.2
	売上	13.3	68.7	18.1	△4.8	12.0	72.3	15.7	△3.6	13.3	74.7	12.0	1.2
	資金繰り	7.2	84.3	8.4	△1.2	6.0	88.0	6.0	0.0	7.2	88.0	4.8	2.4
	採算	6.0	74.7	19.3	△13.3					4.8	79.5	15.7	△10.8
	客単価	4.8	85.5	9.6	△4.8					4.8	90.4	4.8	0.0
	仕入単価	18.1	80.7	1.2	16.9					14.5	84.3	1.2	13.3
	従業員増減	7.3	80.5	12.2	△4.9					6.1	91.5	2.4	3.7
	借入難易度					9.0	82.1	9.0	0.0				

## 伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.58

---

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

---

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。